

# 長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成28年12月25日(日) 第89号

佐久穂・上田第二・松代・犀陵・櫻ヶ岡・相森・小布施・南宮・豊田・木島平・中野平の



過去最高の11中学校から93名が参加。先生方や一般の方もあわせると145名が参加!

## 1 ご縁は続くよ、どこまでも。

「長野県中学校清掃サミット」も、回を重ねて今年で9回目。会場の中野市立中野平中学校は、私が10年前に奉職し、長野便教会がスタートした学校です。ご縁の有難さを感じる会でした。

### 私の「原点」に立って思ったこと

松本市立筑摩野中学校教諭・倉島小有美

第9回清掃サミットが中野平中学校で開かれると聞き、2年ぶりに参加させていただきました。私事ではありますが、ここ数年は病気に悩まされ、「掃除に学ぶ会」や「清掃サミット」への参加ができず、心苦しく思っていたところでした。

中野平中学校は、私にとって特別な学校です。私の初任校であり、ここで初めて学級担任をし、太田智明先生と同じ学年の隣のクラスになって、トイレ掃除に目覚めた地であります。太田先生と出会って2日目に一緒にやったトイレ掃除に感動し、クラスの生徒たちに賛同を求めたところ、生徒たちが食いつくようにして「やってみたい!」と言ったことが始まりでした。私のトイレ掃除は、太田先生とそして一緒に始めたクラスの生徒たちがいなかったら成立しなかったんです。それから、太田先生のクラスと競い合うようにして、教室棟の2階の男女トイレを生徒たちと磨いたものでした。15分間の清掃の中で、便器を磨き、たわしで床を磨き、道具の片づけまで毎日やったものです。すると、トイレ掃除を担当していない生徒までが興味をもち、ある日の放課後には普段は掃除されていない「プールのトイレ掃除をやろう」という生徒まで出てきました。また、生徒会でもトイレ掃除の縦割り清掃を、年間通して行うことにしたのも生徒たちでした。早いもので、あれから10年が経ちました。

今回、太田先生の計らいにより、10年ぶりに教室棟2階の女子トイレを担当させていただくことになりました。「ここからスタートしたんだな」と感慨深く思いながらも、「ご一緒する生徒の皆さんが気持ちよく活動してもらえるように、サブリーダーとして支えていたら…」と思って当日の朝を迎えました。まさか、当時の教え子が参加しているとも知らず…。

太田先生は私に内緒で、10年前と一緒に掃除した生徒たちを誘ってくださっていたのです。当日参加できたのは4人でしたが、当時の生徒たちと私の「原点」の場所でトイレを掃除することになったのです。そうなると、私の心持ちも若干変わってきます。10年経ったとはいえ、当時の生徒を前に「担任らしく振舞わなければ。」「困ることがあったら指示を出さねば。」と。でも、そんな私の心配は全く無駄に終わりました。大人になった生徒たちは「10年経ってもきれいなトイレでとてもうれしい。」「仕事をするようになって、掃除の大切さをあらためて感じている。」などと言う姿に、この子たちは立派な大人になったのだと気づかされました。清掃中も、「これやってくれる?」などと言う必要もなく、壁を拭いたり、蛍光灯や換気扇を掃除したり、どんどん自分で考えて動いている姿に驚くばかりでした。そしてこの子たちは、懐かしい母校や先生たちに会えることを期待して来たのではなく、「今の自分を見つめ直すことができた。」「母校で後輩たちと一緒にまたトイレ掃除ができて良かった。」と言ってくれました。

この子たちが立派な社会人になったのは、もちろん彼らのもっているものだと思いますが、手前味噌ですが、やっぱり一緒に毎日トイレ掃除をしてきた子たちだからとでも思ってもいいのかもしれませんが。今回の「清掃サミット」で一緒に掃除をした中学生のみなさんも、そして今の学校で私と一緒に毎日掃除をしている筑摩野中の生徒たちも、いつかこの子たちのような気持ちのよい若者に育ってくれることを願って、また日々頑張っていきたいと思います。

幸せな時間でした。ありがとうございました。

私・太田にとっても、中野平中学校は決して忘れることのできない思い出の学校です。倉島先生がこんなにお掃除にはまっていなかったら、今の長野便教会はなかったと思うんですね。倉島先生と出会った次の年は、中野平中学校創立50周年の節目の年だったのですが、その記念講演会には鍵山秀三郎相談役においていただいたんですね。相談役が来校されたのは、今の中野平中の3年生の皆さんが小学1年生だった頃の話ですから、それを直接知っているわけではありません。でも、今回は体調を崩されて参加できない鍵山相談役の思いを伝えるかのように、開会式の挨拶の中で相談役がかつて来校された学校であることを語ってくれて、本当にうれしかったです。清掃サミットを9年も続けてくると、こうしたご縁の中で自分が生かされてきたことを改めて感じます。

倉島先生以外にも、今回の清掃サミットには南安曇農業高等学校から小池晃先生が4名の若い先生方を連れてご参加いただいたのですが、その中のお一人の先生が「僕は長野市立豊野中学校の卒業生ですが、中学生のときに第1回清掃サミットに参加したんですよ！」と言うではありませんか！ビックリしましたし、本当にうれしいことでした。

それから、第2回から使っている清掃サミットのシンボルマークは、そのときに豊野中に在職されていた久保田芳先生が、選択美術の生徒さんと一緒に創って下さったものなんです。その久保田先生は、今は我が母校・中野市立南宮中学校にお勤めですが、「今年は清掃主任になったので」と、生徒さんを連れて久しぶりにご参加いただきました。そもそも清掃サミットを開催するきっかけになったのは、南宮中の清美委員長さんの一言なんですよ。

9回・9年の間には、こうしたさまざまなご縁が生まれ、それが今年の会につながっていることを思うと、皆さまとのこのご縁に改めて感謝の言葉しか浮かびません。本当に有難うございます。ご縁は続くよ、どこまでも。皆さまといただいたこのご縁をさらに大切にしていきたいと思います。来年はいよいよ10回目の節目・・・その会場校は、長野市立櫻ヶ岡中学校に決まりました！

櫻ヶ岡中学校では、清美委員会の正副委員長さん3名と顧問の高野宏先生が10月に中野平中学校のお掃除の様子を見学を訪れ、放課後に正副委員長さんどうしで懇談をしたのだそうです。第9回開催校と第10回開催校がこんなふうに交流し、バトンを渡してもらえたら最高です！これも清掃サミットが取り持つご縁ですね。来年の清掃サミットが今から楽しみです！

・・

## 中野平中学校の清掃を見学して 桜ヶ岡中学校清美副委員長(3年)・二本松海飛

今回、中野平中学校の清掃を見て一番心に残ったことは、清掃を無言で行っていることです。本校も「無言清掃」を心がけていますが、なかなか無言清掃にならないのが実情です。そのため、特別活動として「ALL 無言 DAY」(移動から清掃終了後を完全に無言で行う)を行っています。それでも、なかなか結果が出ないので、中野平中の清掃はすごいと思いました。本校も、中野平中のような清掃ができるように委員会を中心に呼びかけ、少しでも改善できるように努力したいです。

次に心に残ったことは、生徒一人ひとりの清掃に取り組む意識がとても高いことです。日にちや時間によって目標や清掃場所を変えたりしたり、清掃リーダー会などを開いたり、トイレ掃除を素手で行ったりして、とてもすごいと思いました。

清掃後の三役の皆さんとの話し合いでは、たくさんの質問に答えてくれてありがとうございました。中野平中学校での清掃で学んだことや話し合いで教えていただいたことを本校の清掃に取り入れていけるようにしていきたいです。また、本校では来年清掃サミットが行われるので、頑張っていきたいです。本日は、貴重な体験をさせていただきました、ありがとうございました。

## 2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時～8時30分 (5:45にはご集合ください)

今回の清掃サミットでは、前日準備のときから会場校の中野平中生の動きには目を見張るものがありました。当日も他校からの大勢の中学生や大人たちを前に、ノー原稿で語りかけるように話す姿に圧倒されました。日頃から積み重ねていないと、この姿にはなりません。会場使用をお認めいただいた兒玉順夫校長先生をはじめ、当日もお掃除にご参加いただいた有賀透教頭先生、生徒会顧問の丸山葉子先生、整美委員会顧問の武田光枝先生他、諸先生方のご指導の賜物ですね。私や倉島先生がいた10年前よりも、さらに伝統に磨きがかかっていると思いました。心から敬服するとともに感謝いたします。有難うございました。皆様よいお年を。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)  
携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp  
小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>